

概要

- 津田港は、1930年頃から遠洋漁業（さけ・ます漁）で栄えていましたが、平成になる前に、遠洋漁業をする船はなくなり、漁港としての位置付けも変化していきました。漁業者も年々減少し、2023年の漁業センサスにおいては、津田港がある香川県さぬき市の漁業者は平成25年から令和5年にかけて、142→91経営体と減少しています。
- 一方で、津田港の周辺エリアは、さぬき市や地元事業者との連携によるまちづくりが進み、宿泊施設が3件、飲食施設が7件開業し、若者世代がチャレンジするエリアとして「ウラツダ」エリアとしてブランドが確立しつつあります。
- また、ウラツダエリアの端にある津田港では、安岐水産が長年事業を行っており、最近では地元漁師と連携して魚と触れ合うイベント「わくわくプロジェクト」を実施し、消費者と漁業者・海に携わる人々を繋ぐ取り組みをしています。
- そうした背景を踏まえて、漁業者や地元宿泊事業者など多様なステークホルダーによるまちづくりが進められています。

香川県さぬき市

津田港



効果

- 漁業者・地域事業者・消費者の連携基盤の形成
- 津田港における交流・体験機会の創出
- 港の認知向上および来訪機会の増加
- 漁港の観光・交流拠点としての可能性の顕在化
- ウラツダエリアとの回遊性向上およびエリア価値の向上

海業の取組概要

- お魚生活すすめ隊の結成・運営や、ねこ海レストランの経営、イベントなど、消費者と直接繋がり、海業を推進してきました。
- こうした取り組みを加速化させ、より地元漁業者と消費者、海に携わる人々を繋ぎ合わせていきます。
- 今後は、観光やレジャー、特産物の開発を通して、漁港を中心としたエリア全体の活性化を進めていきます。

協力体制

津田町漁業協同組合  
さぬき市  
香川県  
株式会社安岐水産

スケジュール

令和8年度中：活用推進計画の策定（漁港管理者）  
令和9年度中：シーマート開設（予定）